


■本資料のご利用にあたって(詳細は「利用条件」をご覧ください)

本資料には、著作権の制限に応じて次のようなマークを付しています。
本資料をご利用する際には、その定めるところに従ってください。

*****: 著作権が第三者に帰属する著作物であり、利用にあたっては、この第三者より直接承諾を得る必要があります。

CC: 著作権が第三者に帰属する第三者の著作物であるが、クリエイティブ・コモンズのライセンスのもとで利用できます。

: パブリックドメインであり、著作権の制限なく利用できます。

なし: 上記のマークが付されていない場合は、著作権が東京大学及び東京大学の教員等に帰属します。
無償で、非営利的かつ教育的な目的に限って、次の形で利用することを許諾します。

- I 複製及び複製物の頒布、譲渡、貸与
- II 上映
- III インターネット配信等の公衆送信
- IV 翻訳、編集、その他の変更
- V 本資料をもとに作成された二次的著作物についての I からIV

ご利用にあたっては、次のどちらかのクレジットを明記してください。

東京大学 UTokyo OCW 学術俯瞰講義
Copyright 2014, 齋藤希史

The University of Tokyo / UTokyo OCW The Global Focus on Knowledge Lecture Series
Copyright 2014, Mareshi Saito

文字を よむ・かく

20141104
学術俯瞰講義

齋藤希史

文字とは何か

- ・ 話されたことばを記すもの？
- ・ 文字とwriting/écriture
- ・ 文字世界としての漢字圏

ジョルジュ・ジャン 『文字の歴史』
矢島文夫（監修）、高橋啓（訳）、
創元社、1990年

フロリアン・クルマス
『文字の言語学：現代
文字論入門』
斎藤伸治（訳）、
大修館書店、2014年

Florian Coulmas,
*Writing Systems: An
Introduction to Their
Linguistic Analysis*,
Cambridge:
Cambridge
University Press,
2002

著作権の都合上

ここに挿入されていた画像を削除しました

Georges Jean, *L'écriture, mémoire des hommes*,
nouvelle édition, Paris: Gallimard, 2007, front cover

[http://www.gallimard.fr/Catalogue/GALLIMARD/Decouvertes-Gallimard/
Decouvertes-Gallimard/Archeologie/L-ecriture-memoire-des-hommes](http://www.gallimard.fr/Catalogue/GALLIMARD/Decouvertes-Gallimard/Decouvertes-Gallimard/Archeologie/L-ecriture-memoire-des-hommes)

漢字の祖型

著作権の都合上
ここに挿入されていた
画像を削除しました

帯卜辞亀腹甲《丙》247
[蔡他 2012]

参考：

「帯卜辞亀腹甲」考古資料數位典藏資
料庫、中央研究院歷史語言研究所
[http://ndweb.iis.sinica.edu.tw/
archaeo3/System/pages/
Data_Artifact.jsp?
artifact_no=7089](http://ndweb.iis.sinica.edu.tw/archaeo3/System/pages/Data_Artifact.jsp?artifact_no=7089)

- ・ 亀甲獣骨に刻まれた文字
- ・ 前辞・命辞・占辞・驗辞
- ・ 殷（商）の王と神官の文字
- ・ 文字の発生とは

[前辞] 甲申卜 殷貞 [命辞] 婦好媿嘉 [占辞] 王占曰 其惟丁媿嘉 其惟庚媿引吉

[驗辞] 三旬又一日甲寅媿 不嘉 惟女

青銅器の文字

- ・ 青銅器に鑄込まれた文字
- ・ 殷から周へ
- ・ 恩賞の下賜・封爵の認可
- ・ 記録される儀式



*

宰梲角銘文
(泉屋博古館所蔵)
[樋口 1984, p.17]



*

宰梲角 (泉屋博古館所蔵)
[泉屋博古館 2002, p.45]

庚申 王在東間 王格 宰梲從 賜貝五朋 用作父
丁卩尊 彝 在六月 惟王廿祀翌又五

儀礼の音声と定型

著作権の都合上
ここに挿入されていた
画像を削除しました

小克鼎

[島根県立美術館・大広 2003,
p.186 「20 小克鼎」；
p.187 「20 小克鼎 銘文（拓文）」]

参考：

「小克鼎」中国文化遗产網
[http://www.cchmi.com/tabid/
95/InfoID/2188/Default.aspx](http://www.cchmi.com/tabid/95/InfoID/2188/Default.aspx)

[紀年] 惟王廿又三年九月 [大
事紀年] 王在宗周 王命善夫克
舍命于成周 遘正八師之年
[作器] 克作朕皇祖釐季寶宗
彝 [嘏辞] 克其日用鬯朕辟魯
休 用匄康{勒} 純佑眉壽
永命靈終 萬年無疆 克其
子=孫=永寶用

文字の帝国

- ・汎用化

- ・素材の多様化：竹・木・帛・石・玉
- ・用途の多様化：盟約の文・行政文書

- ・表音化

- ・仮借字と形声字

- ・地域化

- ・書体：南方の鳥書体
- ・用法：秦「如」／楚「女」「奴」



規格化

隸書と篆書

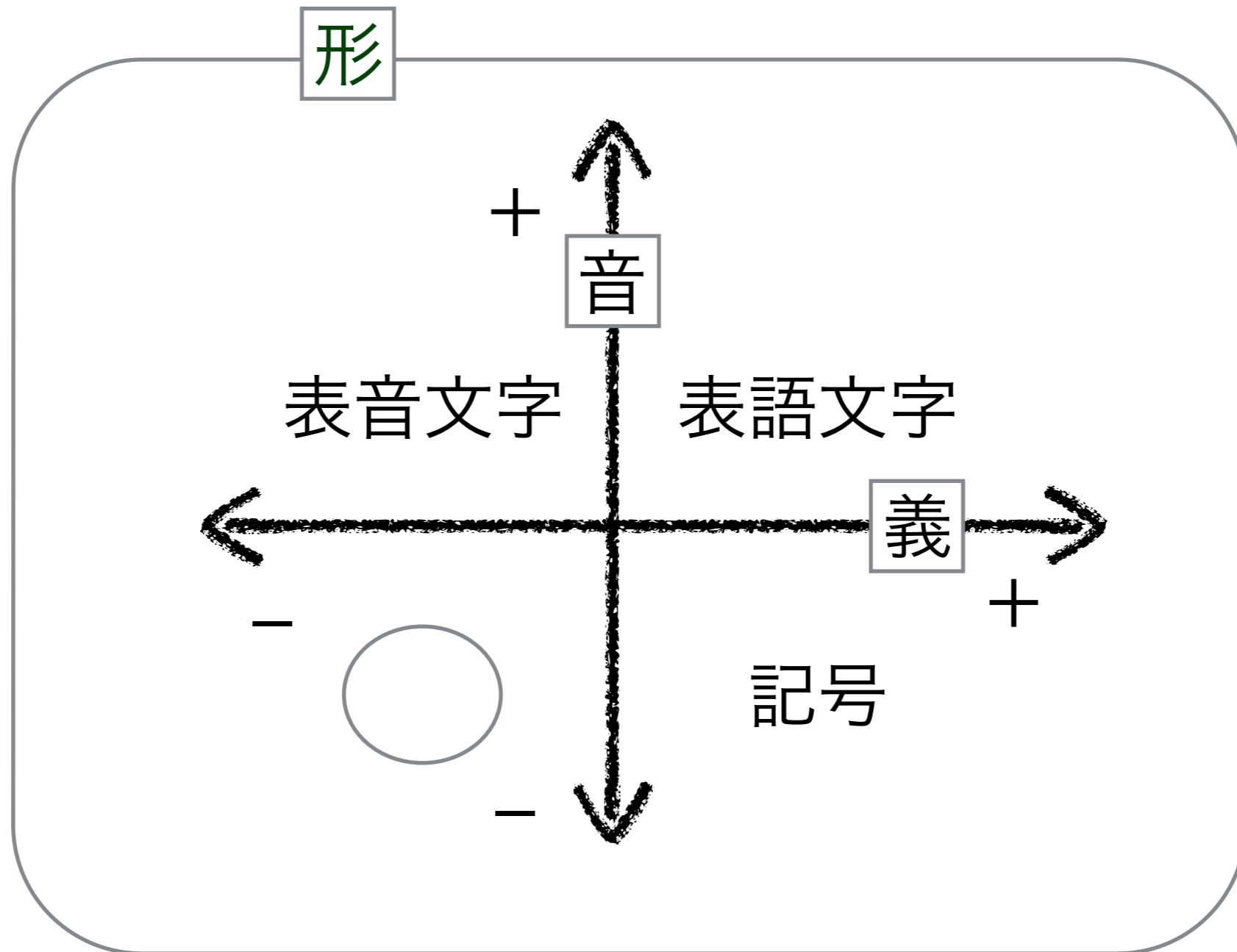


Photo by Yuxuan Wang, from flickr
<https://www.flickr.com/photos/fishywang/484944616>
CC BY-NC-ND 2.0

漢字の基本概念

- ・ 形・音・義
- ・ 六書：
 - ・ 象形・指事 → 義
 - ・ 形声・会意 → 音と義・義と義
 - ・ 転注・仮借 → 義による借用・音による借用

記号と文字



言語と文字

- ・ 記号の発生と定型
- ・ 記号の配列と言語秩序との対応
- ・ 記号と言語音声の結合
- ・ 表語文字の発生

シュメール文字・漢字

漢字圏の拡大

- ・ 中国・朝鮮・日本・ベトナム
- ・ 書記言語による制度の伝播
- ・ 言語と文字との様々な再結合
- ・ 複数の「読み」の成立

訓：拡張する表記

- ・ 文字Aを文字Bで解釈 訓詁
- ・ 文字Aを現地語Bで解釈 「賛 田須久」
- ・ 現地語Bを文字Aで表記 訓表記
「己因訓述者、 調不遠心。 全以音連者、 事趣更長」
(『古事記』 太安万侶序)
- ・ 現地語Cを現地語Bの文字Aで表記 「夏櫛」 訓仮名

仮名：補助と分離

- ・ 仮借の応用
- ・ 音節による分離 → 音声の自覚
- ・ 楷書と草書 → 真名と仮名
- ・ 音の特権化と “和” の意識
- ・ ひらがなとカタカナ

表記システムとしての日本語

- ・ 表意／表音の可視化 漢字と仮名
- ・ 言語／音声の可視化 ひらがなとカタカナ
- ・ 文字表記のフロンティア

これからの漢字

- ・ 表音文字による漢語地域
： 朝鮮半島・ベトナム
- ・ 表音文字との共存：日本
- ・ 表語文字の表意化（再記号化）：「今年の漢字」
- ・ 国際化したEmoji

著作権の都合上
ここに挿入されていた
画像を削除しました
ベトナムの月餅の写真

ベトナムの月餅

図版出典文献

- ・ 蔡玫芬・朱乃誠・陳光祖『商王武丁與后婦好 殷商盛世文化藝術特展』（國立故宮博物院、2012）
- ・ 泉屋博古館(編)『泉屋博古 中国古銅器編』（泉屋博古館、2002）
- ・ 樋口隆康『酒器』I（泉屋博古館、1984年）

参考文献

- ・ 齋藤希史『漢字世界の地平 私たちにとって文字とは何か』（新潮社、2014）